

≡二・キエーロ 使い方マニュアル



「キエーロ」とは

「キエーロ」とは、土の力（バクテリア）で生ごみを分解する生ごみ処理機のことです。

開発されたのは、神奈川県葉山町にお住いの松本さんご夫婦です。ごみ処理に関心が高かったご夫婦が、さまざまな生ごみ処理機を試されたところ、臭いや虫、維持経費がかかるなど、どれも満足するものがありませんでした。そこで試しに庭に穴を開け、落ち葉などと一緒に生ごみを混ぜて埋めたところ、ごみが綺麗に無くなっていたことから、さらに研究を重ね、現在の「バクテリア de キエーロ」と「ベランダ de キエーロ」を開発されました。

「キエーロ」の特徴は？

- 1.バクテリアの力でごみを分解する（黒土の中に含まれているので、別に菌を購入する必要はありません）。
- 2.バクテリアがごみを分解するので、土はほとんど増えない（コンポストのように増えた土を処分する必要がない）。
- 3.維持費はほとんどかからない（生ごみ以外に必要なものは水）。

この他、他の生ごみ処理機と比較して、

- ・土中に埋めるので、虫やにおいが気にならない。
- ・リサイクルできないてんぷら油（汚れたものや臭いや粘度が強いもの）、カレー、シチューなどの残り汁なども投入が可能。
- ・微生物の活性にはある程度の水分が必要なことから、生ごみは水切りせずに投入できる。

伊勢市

使い始める前に

1. 置く場所を決める

日当たりがよく、風通しのいい、なるべく雨が当たらない場所に設置しましょう。

※生ごみを分解するバクテリアは熱と酸素を必要とします。また、土の表面が乾くことでにおいや虫の発生を防ぎます。

2. ミニ・キエーロを使うために必要な道具を用意する

- 黒土

容器の8~9分目くらいまで入れます。

- スコップ

生ごみを投入する際の土を掘るために使用します。

- ジョウロまたはバケツ（ペットボトルでも可）

ミニ・キエーロに水を加えるために使用します。

- 蓋つき容器（プラスチック製、ステンレス製等）

生ごみの一時的な保管や移動に使用します。

使用方法

1. 生ごみを投入するための穴を掘る
深め（生ごみが出ない程度）に穴を掘ります。



2. 掘った穴に生ごみを投入する

生ごみはできるだけ小さくまとめます。

※ごみの量が多すぎると分解効率が落ちるので、1度の投入量はお茶碗1杯分ほどから始めて、分解スピードに応じて増やしたり減らしたりしましょう。



3. 水を加えて土とよく混ぜる

スコップで切るように土と混ぜると分解が早くなります。



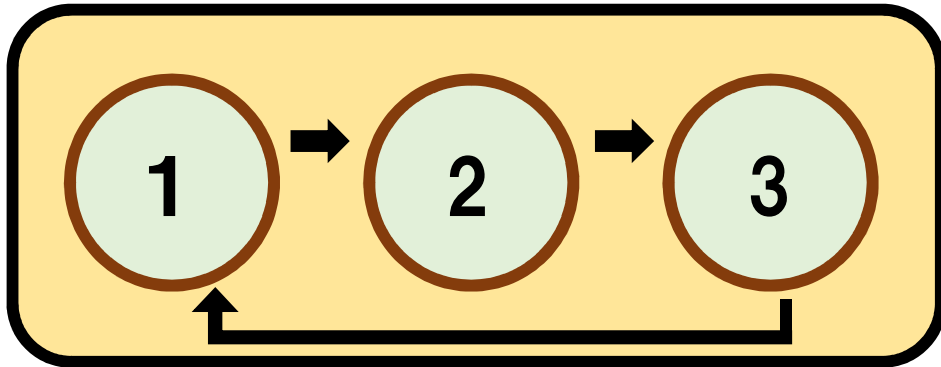
4. 乾いた土を被せる

生ごみの上に乾いた土を被せ、生ごみに空気が触れないようにし、においや虫の発生を防ぎます。



生ごみを入れる場所

生ごみは埋める場所（2～3カ所）を変えながら、使用方法 1～4 を繰り返して生ごみを埋めます。



生ごみが分解するには夏場で5日程度、冬場で2週間程度必要となります。

1度埋めた場所は、分解するまで使えないので、2～3カ所程度場所を分けて、ローテーションさせながら使います。

入れられるもの

野菜くず、肉類、ごはん、パン、麺類、冷凍食品、廃食用油、お茶殻、カレー、スープ、マヨネーズ、ドレッシング、ヨーグルト など

※水切りは不要

分解しにくいもの

繊維質の多い野菜の皮、生野菜の芯や葉（トウモロコシの芯・皮、タケノコの皮など）、グレープフルーツやミカンなど柑橘類の皮、卵の殻、魚の骨 など

分解されないもの

動物の骨、貝殻、かにの殻、桃や梅などの種、つまようじ、竹串 など

ミニ・キエーロを上手に使うには

- ・前回埋めた場所をほぐして、空気を入れよう
- ・土の中のバクテリアの活動を助けるため、廃食用油を入れよう
- ・分解しにくいものは小さく細かく刻もう
- ・日光と水分、風通しが重要です
- ・土の表面は 5cm くらいの乾いた土をかぶせよう

こんなときは

- 虫が湧いた

→生ごみが土の表面に出ていると虫の発生の原因になりますので、乾いた土で完全に蓋をしてください。また、湧いた虫には、殺虫剤を使っても構いません。

- 臭いがする

→土の表面が湿っている、生ごみが土の表面に出ていると、生ごみの臭いが漏れてしまいます。乾いた土で完全に蓋をしてください。

また、水が多すぎて土がぬかるんでいる場合は、一度天地返しをするなどして土を乾かしてから使ってください。逆に、土が固まっていると空気が不足して分解できません。適度の水分と空気をよく混ぜこんでください。

- 生ごみがなかなか分解しない

→生ごみは、細かく刻むと分解が早くなります。また、生ごみと適度な水分と空気を含ませながら、かき混ぜて埋めることが大切です。気温が低いと分解に時間がかかります。分解を促進するためには廃食用油を混ぜると効果的です。分解中は土の温度が上昇しますので、温度を維持するために使い続けることも必要です。



伊勢市環境生活部ごみ減量課

お問合せ先：0596-37-1443